

春合宿 北ア穂高岳、総括 入山&下山

- ◆日程 2015年5月2日(土)~5月3日(日)
- ◆メンバー L: 河野、雫、須田、日比野、渡辺

「総括」

今年も 3000m 級の岩と雪の景色の素晴らしい山に合宿できたことに感謝いたします。今回は集合場所が松本駅とのことで先発隊と後発隊とに別れた。2日昼頃出発と夕方出発になり先発隊は、この日は松本市内の観光を楽しんだ、そして後発隊と駅で合流となりステーションビバークして翌朝一番の電車バスを乗り継ぎ、上高地に入った、上高地を早いうちに歩きだせたので長いアプローチである涸沢に気持ち的に焦ることなく 15 時前後に到着でき天気にも恵まれた。入山日は翌日のことなどを語らいながら寝袋に入り就寝する。

行動初日は日比野、須田、河野は北尾根に向かい、雫会長は一般ルートで奥穂高岳に向かう渡辺はテントキーパーに徹してもらった。

我々北尾根隊は予期せぬアクシデントに遭遇して四峰と五峰のコルで先行パーティーの起こした事故に影響を受け他のパーティーと一緒に引き返すこととなった、残念ではあるが仕方ない行動だと思い、事故に会われた方には気の毒なことで、言いようのない気持ちが込み上げてきた、ある意味運、不運の世界でもあり自己責任的なところもあるのだ。だがいままで培ってきた技術や経験である程度は回避できる部分もあると私は信じている。

テントに戻った我々は、雫会長が戻るのを待ち全員揃ったところで明日の天候が下り坂の予報だと分かっていたのですぐ下山することにしたのだが上高地に着く時間を考えると入山とは逆で時間に余裕がないことを須田が話してくれ皆頑張って必至で歩いた。

上高地からはタクシーにて松本に向かい途中の温泉で汗を流して松本駅に到着この夜は松本の美味しい料理に舌づつみをうち翌日は早めの電車で帰ることができ結果的には下山は大変だったがよかった気もする。

最後に今回の合宿を振り返って思うことなのだが私ごとで申し訳ないが北尾根行動中にヘルメットを落としてしまい迷惑をかけてしまったことにこの場をお借りしてお詫びする。さて北尾根での事故に遭遇したことに対しては、我々は山と向き合うとき常に危険のある山、ルートに入っていることを認識し常に緊張感をもち事に当たらなければいけないことを改めて考えさせられた気がする。(敬称略)

(CL河野)

5月2日(土) 天候: 晴れ

昨夜は松本駅で集合し、2年前の夏合宿同様駅の外でステーションビバークを行った。この季節まだ冷たい風が吹いていて寒かった。4:45 始発の松本電鉄は満席で、乗客はほぼ全て登山者であった。登山者でいっぱいになった車内の風景を久し振りに見て何だか嬉しくなった。

7時過ぎに上高地を出発。青空のもと爽やかな空気に包まれて気持ちよく歩き始める。目の前に見える穂高の残雪は少し少ない感じがした。梓川の水は相変わらずきれいで、木々に



囲まれた林道の空気がおいしい。鳥のさえずりもなかなかいい。明神、徳沢、横尾とかなりいいペースで歩く。徳沢園ではコーヒーのいい香りが漂っていた。横尾近くは、河原に近い道を歩くようになり、アップダウンが少なく歩きやすくなった。横尾の先は樹林帯から残雪があり、本谷橋付近からは完全な積雪となったが、この辺も例年よりも雪が少ない感じがする。本谷橋以降の登りになると、とぎれとぎれに数珠つなぎの渋滞となりペースが落ちた。ここからは見晴らしもよく迷うこともないので、各自歩きやすいペースで登る。



涸沢に着くと案の定テントでいっぱいだった。混み合ったテントの合間に我々のテントを張らせてもらう。隣のテントの人は、今日北穂高岳東稜に行ってきたというので話を聞くと、今年は雪が少なく尾根は岩が出ていて、尾根に出るまでの斜面の雪は朝でも緩んでいるので、出発は早いほうがいいとのことだった。

涸沢ヒュッテのベンチは登山客で満席だったため、テントの横にシートを敷いて乾杯をする。何度来ても涸沢はいい景色だ。すばらしい景色の中で飲むビールは最高においしいが、明日の登りに備えて少なめの量で切り上げる。 (記：日比野)

CT：起床(4:00)、松本駅発(4:45)、新島々駅(5:09/5:20)、上高地着(6:25)上高地発(7:04)、明神(7:52~8:02)、徳沢(8:48~9:00)、横尾(9:53~10:26)、一本(11:32~11:44)、一本(12:44~12:58)、一本(13:48~14:03)、涸沢着(14:30)、消灯(20:40)



5月3日(日) 天候：晴れ

落石滑落事故

滑落事故があった。3日早朝、前穂北尾根4峰付近で落石があったらしい。県警ヘリによる救助活動が続いた。本会も河野さん、日比野さん、須田さんの3人が北尾根に取り付いていたが、県警の登山中止要請により、下山となった。10時頃には涸沢のテントに戻ってきた。奥穂に登頂した雫さんも12時過ぎには帰って来た。

繰り上げ下山

下山は5日の予定だった。だが明日4日は天気が崩れる。6時頃までに上高地に着けば、松本でステーションビバークし、翌朝の特急で帰浜できる。急いで下山することになった。

時間との闘い

徳沢に着いた。中の湯のゲートが19時に閉まることが判明。18時20分までにタクシーに乗らないと、上高地に足止めになってしまう。須田さんたちが機転をきかした。タクシーを予約し、先行して止めおいてくれるという。おかげさまで、無事タクシーに乗ることができた。途中、日帰り温泉で汗をながし、松本で軽く一杯やって、ステーションビバークとなった。

雪の涸沢カール

涸沢カールは、山の聖地だ。造化の神秘だ。前穂、奥穂、涸沢岳、涸沢槍、北穂のスカイラインは、絶妙のバランスだ。あずき沢が広い。北穂沢は急峻だ。久しぶりの涸沢に気持ちが高揚する。風景が新鮮だ。

心の充実感

春山合宿に参加できたのもメンバーのみな様のおかげです。ありがとうございました。山の会の一員で良かったなあと思いました。

(記：渡辺)

CT：涸沢 13：15－横尾谷分岐上部 13：50－横尾 15：50－徳沢 16：45

－明神 17：35－上高地 18：20



【春合宿食糧】

メニュー

5月2日夜 鶏豆乳鍋

5月3日朝 ラーメン

5月4日夜 カレーうどん

メニューはまだ寒い時期なので鍋にしました。肉や野菜をすべてカットしてから冷凍して持って行きました。調理時間も短縮でき、味も好評でした。

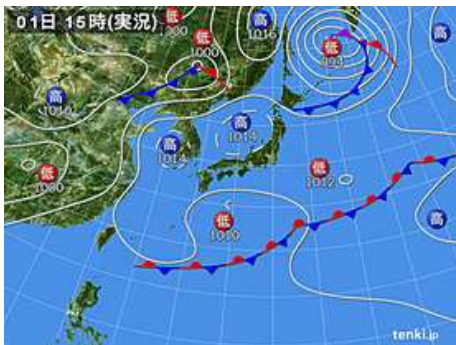
しかし日程が短縮されて食料が大量に余ってしまい、仕方なく廃棄処分にしたものもあるので、生ものとドライフーズの組み合わせを考慮する必要がありました。

(食糧係 須田)

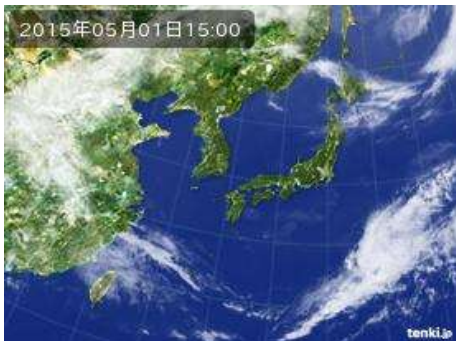
【春合宿気象】

北アルプス穂高周辺は4月後半よりずっと天気良く気温も高い状況が5月に入っても続いていた。

【1日】大陸の広域圧に覆われて良い天気

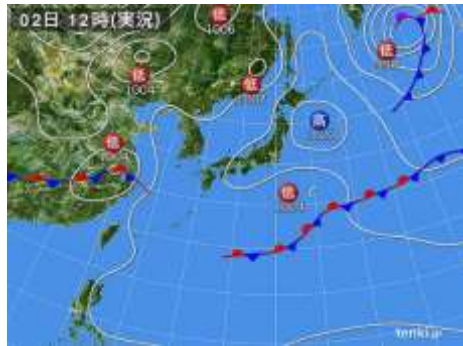


↑ 1日天気図



↑ 1日気象衛星

【2日】大陸の高気圧に覆われ良い天気

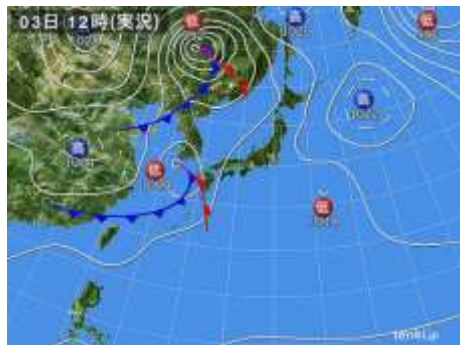


↑ 2日天気図



↑ 2日気象衛星

【3日】低気圧発生西から天気は下り坂だが北アルプスは良い天気。午後はガス発生

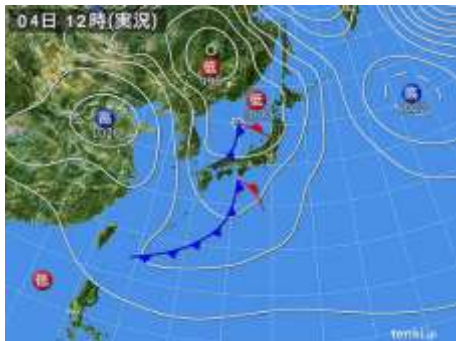


↑ 3日天気図

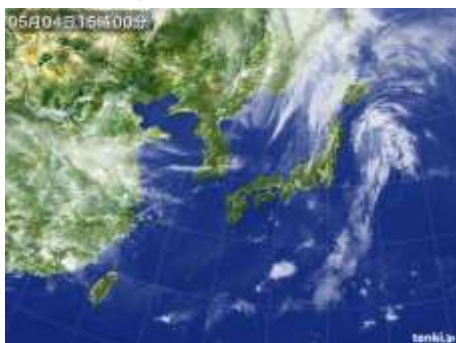


↑ 3日気象衛星

【4日】日本海側と太平洋側に低気圧と前線発生



↑ 4日天気図



↑ 4日気象衛星

(記：雫)

【連休中の北アルプス事故】

連休前山岳遊覧相次ぐ、前線高岳、落石で滑落、女性死亡

大型連休後半2日目の3日、好天に恵まれた長野県内の山岳で遊覧が相次いだ。北アルプス前線高岳で女性2人が落石を撃って1人が死亡、1人がけがをしたほか、高岳では登山中に倒れた男性が脳出血の病院で死亡した。ほかに、北アルプス、南アルプスなど、下伊那郡岡谷市の神山山でそれぞれ1人が骨折などのけがをした。



登山客のつらさ1と好天、ふたつに注意
前線高岳登山道-1日午後(撮影者)

午前6時10分ごろ、前線高岳の北尾根4峰付近(標高約2800メートル)を4人で登っていたグループから、「2人が落石に巻き込まれ、1人が滑落した」と道沿いの山小屋に連絡があった。事故は約120メートル滑走した東京都葛飾区の会社員木下はな子(かごこ)さん(44)は滑走ヘリコプターで救助され、松本市内の病院に運ばれたが、午前8時56分に多発外傷で死亡。東京都葛飾市の自営業佐野紀美子さん(47)は助傷(ろっこつ)を併発する重傷を負った。



残りの男女各1人は自力で下山した。松本市によると、現場は登山道ではなく上級者向けのコース。4人は2日に上高地から入山し、5日に下山する予定だったという。

4人とも都内在住で、約50人で行く山岳会「東京ヤングクライマーズクラブ」(東京)に所属している。同クラブによると、木下さんは海外をめぐり、6年の登山経験があった。

一方、高岳では午前7時半ごろ、都内の旅行会社が主催した登山ツアーの参加者で、東京都小平市の無職相沢好雄さん(79)が中降温泉登山口を出発後に突然倒れた。

佐藤野青によると、相沢さんは東海消防団ヘリで松本市内の病院に運ばれたが、約2時間後に循環系の疾患で死亡した。外傷はなかったという。ツアーの一行はガイドを含め計11人で、相沢さんは1人で参加していた。

前線高岳の筑紫尾根付近(標高約2400メートル)では午後4時45分ごろ、大府市豊中市の会社役員川崎厚夫さん(68)が約50メートル滑落し、左足を骨折した。大町市によると、川崎さんは4人グループで、2日に大町市内から入山していた。

2015年(平成27年)05月01日(木) 18時00分

北アルプス、奥穂高岳 男女2人滑落死

3日朝、長野県の北アルプスの前線高岳で登山をしていた50代とみられる男女2人が滑落して死亡しました。

5日午前7時すぎ、北アルプスの前線高岳の標高およそ3000メートルに位置する「ザイテングラート」と呼ばれる登山道が凍結の状況で、「男女2人が滑落した」と近くにいる男性から登山者に連絡がありました。乗客がヘリコプターなどで救助に飛び、登山道の奥にある「あずき沢」を60メートルほど下った時点で2人が重傷重傷の状態を診察されていると気づいて救助へ対応しましたが、死亡が確認されました。

警察によりますと、連絡した男性は「「あずき」という声援にきたあと、2人が滑落したのをみた」と話していて、2人で登山していたということです。

警察は死亡したのは長野県から訪れていた50代の男性とみえて顔面を凍るなどのと、滑落したときの状況を探り続けています。

(記：雫)

【春合宿装備】

共同装備表

品名	個数
テントNo.21(ダンロップ6人用)	1
銀マット	3
コッヘルNo.5(丸5~6人用)	1
コンロ台	2
ガスコンロ	2
ガスボンベ	小6
ツェルト	2
無線機	3
ロープNo.39(9mm45m)	1
ラジオ	1
ランタン	1
会旗	2
スノーバー	2
タワシ	1
ビーコン・プローブ・スコップ	4
おたま	1

(記：須田)